



# 学校だより

令和8年5月1日 第2号  
尼崎市立園和北小学校  
校長 平岩 健太郎

「よってたかって」園和北小学校

校長 平岩 健太郎

今月の学校だよりの題名「よってたかって」という言葉の本来の意味は、多くの人が一カ所に集まっていっせいに何かをする様子を表します。その使われ方には一人に対して大勢で取り囲む、押し寄せるといった悪いニュアンスで使われることもあります。

しかし、園和北小学校では、そうした意味ではなく、「誰かを助ける」「支える」という前向きな言葉として、10年以上前から園和北小学校の教職員の合い言葉となっています。子どもたちは学校生活の中で、嬉しい気持ち、悲しい気持ち、悔しい気持ちなど様々な思いを抱いて過ごしています。そして、自分のことを見て欲しい、聞いて欲しい、という気持ちを持っています。そうした時、担任の先生一人ではなく、教職員みんなで一人ひとりの子どもたちを見まもり、話を聞き、関わり、支えていこうという意味で使っています。もちろん、担任の先生は一人ひとりの子どもに愛情と責任を持って関わっています。そこに、校長、教頭、学年の先生、専科(音楽、図工、算数、理科)、保健、支援、栄養、事務、校務員など園和北小学校職員みんなで子どもたちのことを見まもり、話を聞き、助言したり、励まし続けたりしてきました。

もちろん、教職員だけで「よってたかって」をしている訳ではありません。保護者の皆様との連携や地域の皆様の温かい支援や見まもりがあってこそ、子どもは大きく成長していきます。例えば、PTA 活動や園和北小コミュニティスクールでは、保護者、地域の皆様と共に、子どもの活動を中心に据えた活動を展開しています。子どもたちへの支援を通して、子どもたちの様子を知ること、保護者・地域の皆様と子どもたちが気軽に声を掛け合えるような場面も見られるようになりました。地域に開かれた学校になってきていると感じており大変嬉しく思っています。教職員だけでなく保護者、地域の皆様と「子どもたちにとって」という視点で「よってたかって」となることは、子どもたちにとっていいことしかありません。

これからの時代は、互いの違いを認め合いながら協力していく力がますます求められます。本校でも、子どもたちが安心して過ごし、自分らしく力を発揮できるよう、これからも「よってたかって」を大切にしたい学校にしていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、引き続き温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 5月の主な行事

- 5月12日(火) 職員の会議のため 15:45 下校
- 15日(金) 参観・懇談
- 27日(水) 職員の研修のため 15:45 下校
- 29日(金) 引き渡し訓練

## お知らせ

- ・5月11日の週に、順次体力テストを行います。体操服・体育館シューズを持たせて下さい。
- ・暑くなってきました。子どもたちは外で元気に遊んでいます。熱中症対策のため、多めの水分を持たせてください。また、汗をかきますので、汗拭きタオルも持たせて下さい。

